

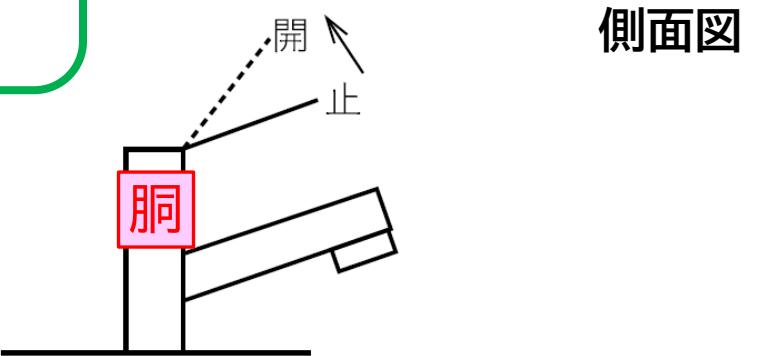
# 建築物エネルギー消費性能基準における節湯水栓(節湯C1)の定義補足

■シングル湯水混合水栓のレバーハンドルの位置についての補足説明図を次に掲載する。

“レバーハンドルが水栓の正面に位置する”が適用されるパターン  
(レバーハンドル部が別体でも同様)

[上面形]

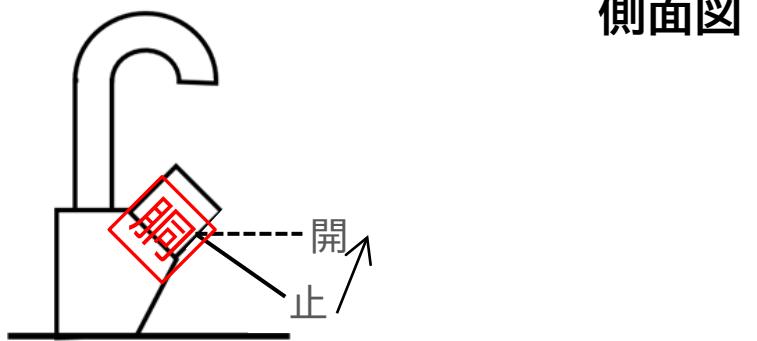
レバーハンドルが水栓の胴の上面に位置する場合



側面図

[斜め形]

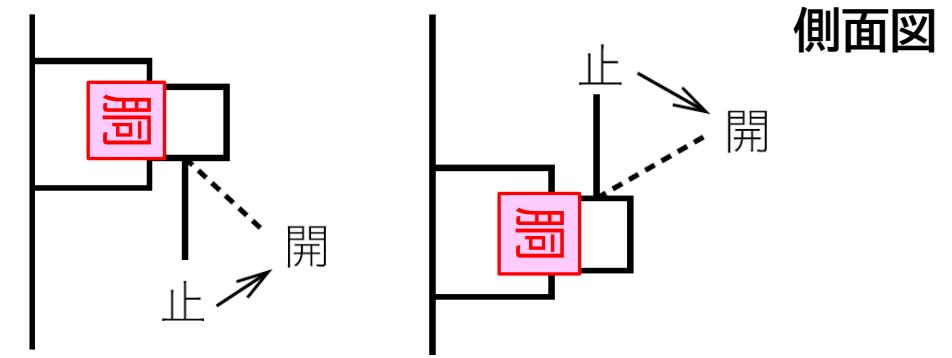
レバーハンドルが水栓の胴の前方斜め面に位置する場合



側面図

[前面形]

レバーハンドルが水栓の胴の正面に位置する場合

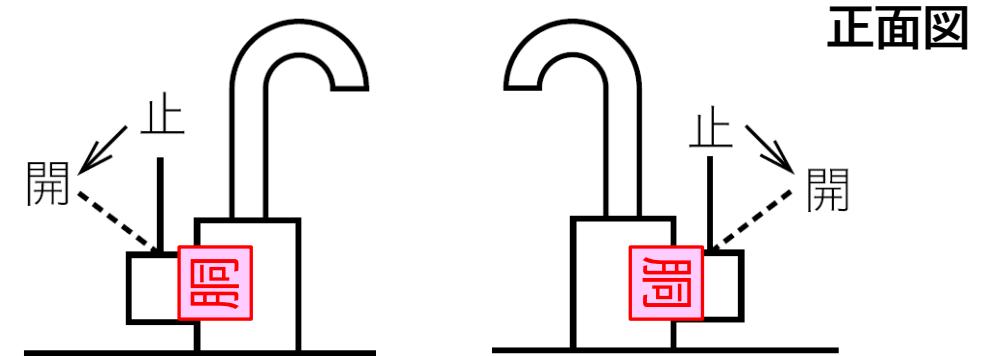


側面図

“レバーハンドルが水栓の胴の左右側面に位置する”  
が適用されるパターン

[側面形]

レバーハンドルが水栓の胴の側面に位置する場合



正面図

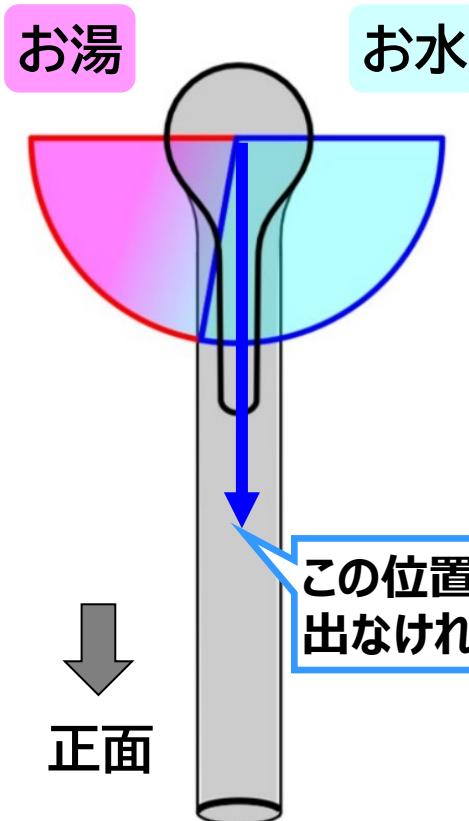
※胴=吐水・止水および温度調節機構が一体となったバルブが位置する箇所

# 建築物エネルギー消費性能基準における節湯水栓(節湯C1)の定義補足

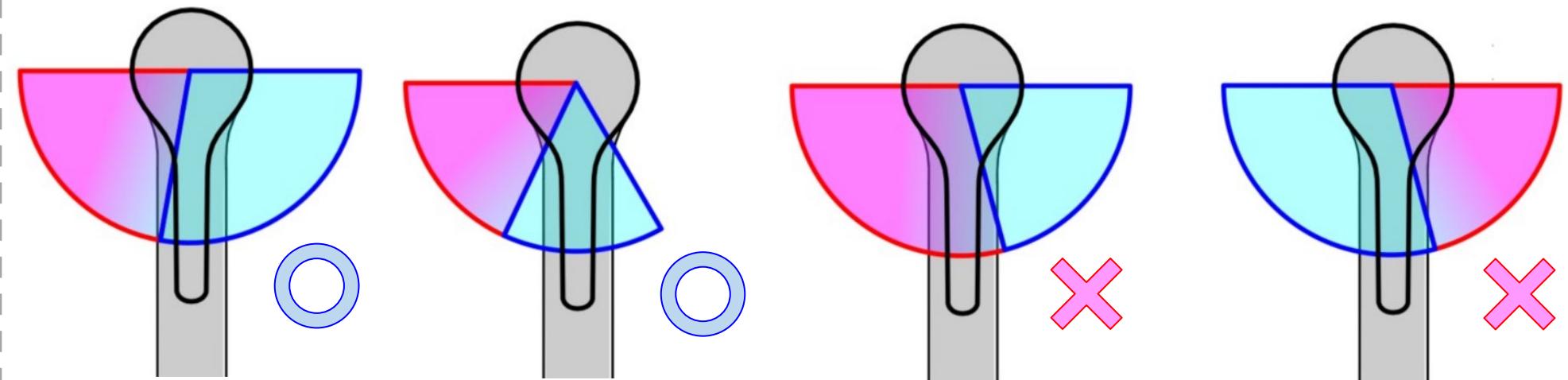
■節湯水栓“水優先吐水機構を有する水栓(節湯C1)”の定義における

“レバーハンドルが水栓の正面に位置するとき”についての補足説明図を次に掲載する

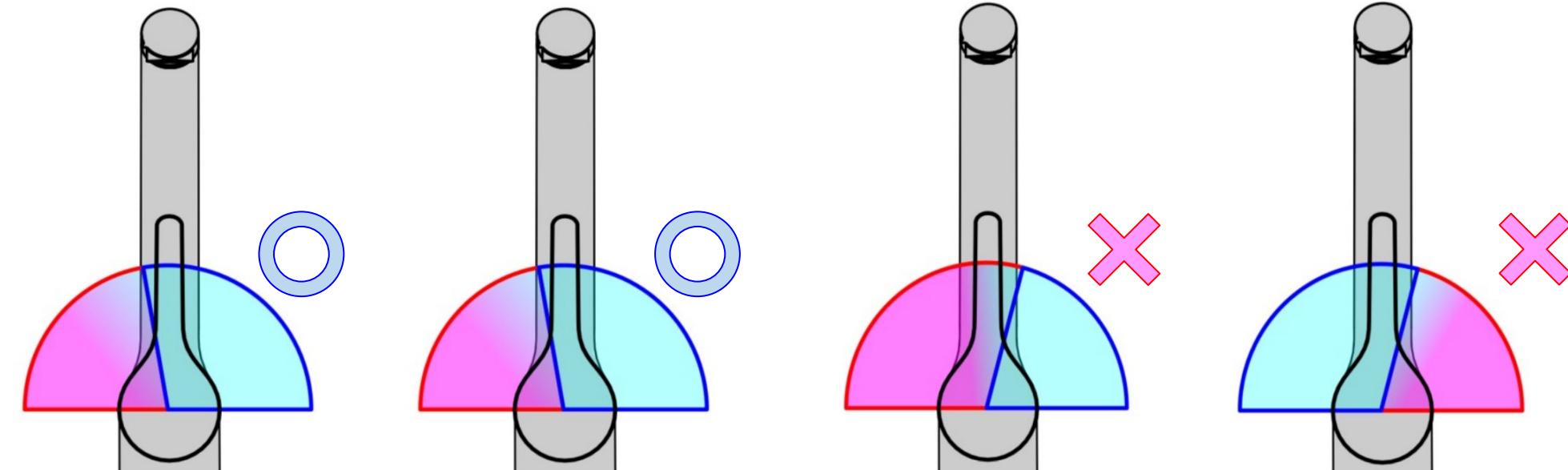
上面形の例



上面形・斜め形・前面形(ハンドルが下向き)の例



前面形(ハンドルが上向き)の例



# 建築物エネルギー消費性能基準における節湯水栓(節湯C1)の定義補足

## ■節湯水栓“水優先吐水機構を有する水栓(節湯C1)”の定義における

“レバーハンドルが水栓の胴の左右側面に位置する場合は、温度調節を行う回転軸が水平で、かつレバーハンドルが水平から上方45°に位置するとき”についての補足説明図を次に掲載する

